

Unless Otherwise Directed (UNOD) letter

特段の指示がない限り UNOD 文書

([SiriusDisclosure のウェブサイトより](#))

UNOD (特段の指示がない限り) 文書

1996 年 11 月 15 日

宛先 :

大統領 ウィリアム・ジェファーソン・クリントン

副大統領 アル・ゴア

国家安全保障担当補佐官 トニー・レイク

国防長官 ウィリアム・ペリー

国務長官 ウォーレン・クリストファー

中央情報局長官 ジョン・ドイッチ

統合参謀本部議長 シャリカシュヴィリ将軍

上院情報委員会委員長 アーレン・スペクター

下院情報委員会委員長 ラリー・コンベスト

上院軍事委員会委員長 ストローム・サーモンド

下院国家安全保障委員会委員長 フロイド・スペンス

航空宇宙局長官 ダニエル・ゴールドデン博士

連邦捜査局長官 ルイス・フリー

司法長官 ジャネット・リノ

発信者： スティーブン・M・グリア, 医師, CSETI 責任者

件名： 計画されている UFO/ET の主題に関する情報公開と国家機密保全誓約

現在, CSETI (地球外知性体研究センター) が取り組むプロジェクト・スターライトは, 軍, 情報機関, 国防契約企業の元関係者および現関係者で UFO/ETI の事象およびプロジェクトを証言する, 数十人の証人を確認しています。いくつかの資料および背景説明 (同封物を参照されたい) が示すように, 私たちはこの問題に関してきわめて近い将来, これらの重要な証人たちに隠し立てのない公開証言をしてもらおうつもりです。

1995 年の夏, 私たちは大統領に対して, これらの証人が民事上の処罰, 軍法による処罰, またはその他の処罰を受けることなく公然と話すことを可能にする, 適切な措置を講じることを要請しました。そのとき以来, 名乗り出ることを望む証人の数は急激に増えています。彼らの中には, 高齢で重度の病状を抱える人もいます。これらの愛国的で勇敢な祖国の英雄たち - 彼らは同胞にこの問題の真実を語ることを強く望んでいます - が, この情報を伝えないまま世を去るようなことがあってはならないと私たちは考えます。それゆえに私たちは, この主題について公然と話す証人たちの自由に関して, 貴職が明確な決断を示されるよう求めます。

過去 3 年間に, 私たちは議会メンバー, 行政部門, 軍および情報機関の指導者たちがこの重要な問題について説明を受けてこなかったこと, またこの主題に関連する諸活動が '認められざる' 特殊接近プロジェクトとして存在することを知りました。大部分の活動は軍産部門の民間部分に存在し, その資金調達および監督は憲法を超えたところにあるように思われます。

活動がそうであるゆえに, またそれが合憲的であると十分に実証されない限り, 私たちはこれらの活動とそれに由来する, いわゆる '機密保全誓約' のすべては違法であり, 上記の証人たちに対する法的拘束力を持たないと考えます。

よって, **1997 年 1 月 1 日までに特段の指示がない限り**, 私たちはこれらの証人が隠し立てのない公開証言を行なうことのできる, 一連の行動を起こします。もし貴職から返答がないか, 同意の返答があった場合, 私たちは上記の期日後に UFO/ETI 情報の公開を進めます。もし貴職から, UFO/ETI に関連する事柄の証人たちがなおも沈黙を守るべき旨の明確な通知があった場合, その場合に限り, 私たちは計画を変更します。政権, 軍, 議会のメンバーに対する先の背景説明および資料で述べたように, 私たちはこの情報公開を, 科学的な, 将来に目を向けた, 希望に満ちたやり方で実現

させるつもりです。私たちの意図は、わが国や世界に不安定さをもたらすことにはなく、むしろこの問題が秘密裡に管理されていることから生じる、明らかな危険を軽減することにあります。私たちは、20世紀と21世紀初めにおける紛れもなく最重要なこの問題の情報公開過程に、貴職からの助言、助力、および支援を求めます。

これらの証人の証言は、以下のことを含みますが、これらに限定されません：

損傷を受けた ET 装置および ET 生命体の回収

ET 技術に関連した逆行分析（Reverse-engineering）プロジェクト

UFO/ET 輸送機の偵察と追跡

UFO/ET の主題に関連する闇のプロジェクト

軍/UFO 遭遇事件の確証

UFO/ET の主題に関連する偽情報プログラムの性質および範囲

私たちは、この件に関して一刻も早い貴職からの返答をお待ちします。

1997 年中の公開証言に関わる、これらの証人の法的地位に関して決断を求める本要請を、是非ご検討くださいますようお願いいたします。

謹んで、

スティーブン・M・グリア 医師
CSETI 責任者

著作権 2015 年 SiriusDisclosure

(訳： 廣瀬 保雄)

UNOD FOLLOWUP LETTER

UNOD 確認文書

([SiriusDisclosure のウェブサイトより](#))

UNOD 文書 - 確認 - 1997 年 1 月 1 日付け文書

1997 年 1 月 1 日

UFO の事象／プロジェクトを証言する軍、情報機関等、政府関係の証人たちは、彼らの知識と経験を公然と話すことができるとする、私たちの先の表明を米国政府が訂正する期限は、1997 年 1 月 1 日午前 12 時をもって切れました。

1996 年 11 月 15 日付けの文書において、CSETI（地球外知性体研究センター）のプロジェクト・スターライトは、UFO に関連するプロジェクトが合法的な監督と管理を外れて存在し、これまでも存在してきたゆえに、そのようなプロジェクトに関わるあらゆる機密保全誓約は無効かつ空虚であるとの立場を述べました。文書は、**特段の指示がない限り**、この評価は正しいものと見なされ、当の政府証人たちは、1997 年 1 月 1 日をもって公然と話すことができると述べました。

この文書は下記宛に送付され、受領通知も得られています：

大統領 ウィリアム・ジェファーソン・クリントン

副大統領 アル・ゴア

国家安全保障担当補佐官 トニー・レイク

国防長官 ウィリアム・ペリー

国務長官 ウォーレン・クリストファー

中央情報局長官 ジョン・ドイッチ

統合参謀本部議長 シャリカシュヴィリ将軍

上院情報委員会委員長 アーレン・スペクター

下院情報委員会委員長 ラリー・コンベスト

上院軍事委員会委員長 ストローム・サーモンド

下院国家安全保障委員会委員長 フロイド・スペンス

航空宇宙局長官 ダニエル・ゴールドン博士

連邦捜査局長官 ルイス・フリー

司法長官 ジャネット・リノ

さらに、この資料は米国連邦最高裁判所にも送付され、その受領通知は保留になっています。

送付文書は、このファイルに添付されています。この文書と共に、多数の背景資料や方針説明書が同封されました。その中には UFO/ETI の主題に関係する機関、組織、企業、および秘密施設の詳細な一覧が含まれます。

UNOD（特段の指示がない限り）形式は、政府および軍において日常的に使われ、特段の指示がない限り、その方針および記述された行動は黙示的に承諾されると示唆します。

この文書は、私たちが可能な限り多くの誠意ある政府関係者および証人たちを集め、これらの人々が UFO/ET の事象および秘密プロジェクトについて知っている事柄を公然と話すと言明しました。

この文書が送付されて以来、情報機関の高位かつ信頼できる複数の情報源は、政府の証人たちが名乗り出て公開証言を行なうという計画に対して、返答も妨害もないだろうと述べています。

重要なことですが、1997年1月1日時点において、どの政府機関、省庁、部局もこの評価に反論しておらず、政府証人たちが今後も沈黙を守るべきであるとの言明もしていません。

CSETI 責任者のスティーブン・グリア博士は、これまで米国議会（下院および上院）のメンバーを含む様々な政府関係者と会合を重ねてこの問題を論じ、UFO/ETI の主題についての公聴会を開催するよう要請してきました。

これらの情報公開に向け、また上記の期限が切れたことを踏まえて、軍、情報機関、

政府および企業の証人たちの会合が、今冬のうちにもたれます。誠意ある証人または証人の仲介者は、この会合への参加に関して直ちにグリア博士に連絡してください。これと同様の小規模会合が 1995 年に CSETI により組織され、これには米国の宇宙飛行士、米国とロシアの軍関係者、等々が出席しました。

今冬の会合では、多数の政府の UFO 証人を集めて議会等の公職にある関係者と会い、議会における公聴会の開催を要請します。それにより、証人たちは UFO/ETI に関連する彼らの知識と経験について、公然と証言することができます。

もし議会が公聴会の開催に同意しなかった場合、UFO/ETI の実在性を国民に知らせるために、国連や私的な情報公開の場など、他の会場が検討されることとなります。

本通知は、追加的な許可または制限なしに、あらゆるニュースグループ、報道媒体、利害関係者に配布して差し支えありません。

著作権 2015 年 SiriusDisclosure

(訳： 廣瀬 保雄)